

給食・食育だより

西郷村学校
給食センター
令和3年度7号

～全国学校給食週間です～

1月24日は「学校給食記念日」です。そして、1月24日から1週間を「学校給食週間」としています。

* 学校給食週間とは *



明治22年に山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で、貧困児童に対し無料で昼食が提供されました。それが我が国の学校給食の起源とされています。その後、全国的に広まりましたが、第2次世界大戦により一時中断されました。

戦後日本中が食糧不足で、多くの子どもたちが栄養失調になりました。そこで、アジア救済公認団体により、アメリカから緊急に脱脂粉乳、小麦粉、缶詰などが寄贈され、関東の学校で試験的に学校給食を再開し、昭和22年12月24日に再び学校給食が始まりました。しかし、この日が学校の冬休みと重なってしまうため、1か月遅らせて1月24日を「学校給食記念日」としました。

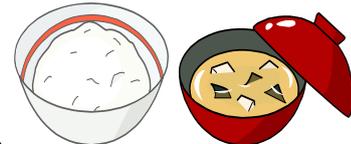
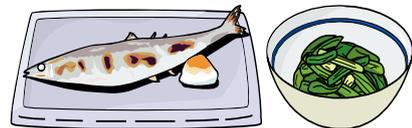
当時の学校給食は、脱脂粉乳を湯で溶いたミルクと、おかずはみそ汁や野菜の煮物、魚料理など一品だけでした。



今では学校給食も内容が充実し、バイキング給食やテーブルマナー給食、弁当給食、行事食などを給食にとり入れている学校も多く見られるようになりました。また、地場産物を活用したり郷土料理を取り入れたり、地域の方との交流給食を実施するなど、学校給食を通して地域交流が積極的に行われています。

西郷村学校給食センターでも24日(月)から、揚げパンやカミカミ食材を取り入れた献立、いかにんじんやこづゆ料理を取り入れた福島県内の郷土料理の給食などを実施します。

この機会に家庭でも学校給食の思い出や食べることの大切さについて話し合ってみてはいかがでしょうか。



バランスよく食べましょう

～揚げパンについて～

揚げパンは学校給食が始まりとも言われています。

きなこは国産大豆を使用しています。